

埼玉県 MINJIKYO DAYORI 民児協だより



平成29年2月1日発行

No.151



幸せを呼ぶ直紀の世界 「梅のある風景」

画：飯野 直紀

寒かった冬もだんだん遠ざかり、少しずつ春の兆しを感じられます。2月も早い所では梅が咲き始め、メジロが梅の枝にとまっています。子どもたちも楽しげに足取り軽く登校しています。

目次	●平成29年知事メッセージ	2
	●会長就任挨拶	3
	●県民児協役員紹介	4
	●民生委員・児童委員委嘱状伝達式	5
	●平成28年度「主任児童委員セミナー」開催報告	6-7
	●平成28年度「全国主任児童委員研修会(東日本)」	
	平成28年度「民生委員・児童委員のための相談技法研修会」参加報告	8
	●平成28年度「第85回全国民生委員大会」参加報告	
	平成28年度各種表彰受章者等の紹介	9
	●わがまちの単位民児協活動紹介ルポ(蓮田市・鶴ヶ島市)	10-11
	●元民生委員・児童委員の声(川口市)、県民児協の3カ月の予定	12

埼玉県民児協だよりでは、「民生委員及び児童委員」を「民生委員」と、「民生委員・児童委員協議会」を「民児協」と表記しています。



この広報紙は、共同募金の配分金により発行されています。

新しい時代の幕開け

埼玉県知事 上田 清司



明けましておめでとうございます。民生委員・児童委員の皆様には、健やかに平成29年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの本県ゆかりの選手の活躍に、大きな感動と勇気をいただきました。

2019年のラグビーのワールドカップ大会、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、両大会がすばらしい大会になるようにしっかりと準備を整えてまいります。

さて、埼玉県の勢いには、ここ10年、目を見張るものがあります。

圏央道の県内区間全線開通や、北陸新幹線、北海道新幹線の開業で交通アクセスが飛躍的に向上し、本県の立地優位性は大いに高まっています。

このように、埼玉県は著しい成長を遂げておりますが、今後は今まで経験したことのない局面を迎えます。

団塊の世代が75歳以上となる2025年にかけては、急激に高齢化が進むとともに、生産年齢人口の減少による社会の活力の低下が懸念されています。

誰もが将来に希望を持ち、生き生きと活躍できる社会を築くため、更に知恵を絞り工夫をしなくてはなりません。

埼玉県は、生活保護世帯の子供の学習支援や糖尿病重症化予防対策など、本質を突いた施策の展開で国を動かしてきました。

工夫できることは、まだまだあります。

元気な高齢者が社会の担い手として活躍することを目指す「シニア革命」も本格化し、それを支える「健康長寿埼玉プロジェクト」も全県で展開しているところです。

女性の社会参画を進める「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」は、全国に知られてきました。

さらに、マグネシウム蓄電池などその成果が出つつある「先端産業創造プロジェクト」も力強く進めていきます。様々な機関との連携を深化させ、実用化、製品化開発を促進していきます。

また、日本の将来に関わる少子化対策にも力を入れて取り組みたいと思っています。

私は、今後も時代の本質を考え、その解決に向け全国をリードしていきたいと考えています。

今年も県政への御理解と御協力をお願い申し上げます。

「地域の底力を信じて」 新しい船出



一般財団法人埼玉県民生委員・児童委員協議会
会 長 大 谷 富 夫

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

埼玉県民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様におかれましては、平成29年の年明けを、お健やかに迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

去年は任期満了に伴う一斉改選があり、新たに2,997人の新任委員を迎え県全体では10,975人の定数となりました。「埼玉民児協丸」も纜を解き出航した所でございます。

福祉の海原は風いである時ばかりではありません。時には大時化に遭遇することもあると思います。そんな時は委員の皆様と連携を取り、嵐に立ち向かい知恵を出し合って難局を乗り越えて行きましょう。

さて、2025年問題がささやかれて久しくなり、さらには高齢者の定義年齢も70才以上にと提言されている昨今でございます。益々ご高齢の方々が地域社会に進出され活躍が期待される新たな潮流が起きつつある様です。一方、子どもたちに目を向けますと、貧困の連鎖による子どもの貧困、十分な食事や教育の滞りが顕著です。

地域での「縁の下での力持ち」的な存在は、1世紀を超えて今なお脈々としています、産声を上げる前から人生を全うされる時々の瞬間に、お手伝いが出来る立ち位置におられる委員の皆様です。時には感動・満足・挫折・感謝等いろいろな局面に対峙されることがあると思います。喜びは大いに仲間と分かち合い、迷った時多くの仲間が側にいます。必ずや解決の糸口は見つかります。

平均寿命が延びて、人生喜寿・米寿を飛び越え白寿に迫らんとしています。そんな中、我が埼玉県も急速な高齢化社会に向かおうとしており、これからの活動は高齢化対策が必須となり、皆様と共に元気な高齢者で溢れる県を目指して努力精進して参りたいと思います。

申し遅れましたが、去る1月20日に開催いたしました、本会理事会及び評議員会におきましてご推挙いただき会長職に就任をいたしました。身の引き締まる思いでございます。これからも委員の皆様がお持ちの福祉のお福分けをいただきながら、更にはお一人お一人のご健康とご活躍、さらなる弥栄をご祈念申し上げ、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

県民児協役員紹介

平成29年1月20日（金）に開催された第141回評議員会及び第140回理事会において、次の役員が補充選任されました。—敬称略—

■会長(理事)



川口市
大谷 富夫

■副会長(理事)



春日部市
鈴木 浩子



東松山市
篠原 敏夫



新座市
須田 邦彦



深谷市
宮島 典子

■理事(正副会長除く)

東部ブロック

越谷市 白倉 譽治
蓮田市 大野 禮子

西部ブロック

狭山市 藤野 美佐子
川島町 亀田 緑

南部ブロック

蕨市 藤井 康榮
志木市 吉田 豊子
伊奈町 加藤 衛

北部ブロック

熊谷市 寺田 治子
寄居町 池田 和男

男女共同参画推進部会長

蓮田市 下田 ナカ

主任児童委員会委員長

上尾市 大場 玲子

常務理事

さいたま市 都倉 大介

〔理事任期：～H30年5月の定時評議員会終結のときまで〕

■監事

東部ブロック

加須市 大塚 稔

西部ブロック

富士見市 吉田 京子

南部ブロック

朝霞市 橋本 芳博

〔監事任期：～H30年5月の定時評議員会終結のときまで〕

■評議員

東部ブロック

羽生市 鈴木 康夫
草加市 渡邊 幸司
久喜市 長谷川 實
八潮市 篠木 猛夫
三郷市 芝井 忠夫
幸手市 吉川 一男
吉川市 野中 八重
白岡市 矢島 静江
宮代町 加藤 雄
杉戸町 大橋 登喜夫
松伏町 今井 しげ子

西部ブロック

川越市 芝波田 静香
所沢市 橋爪 猛子
飯能市 細井 秀子
入間市 白井 和子
坂戸市 佐藤 和子
鶴ヶ島市 武田 文子
日高市 北風 江子
ふじみ野市 三瓶 和子
三芳町 三瓶 和子
毛呂山町 岡崎 明子
越生町 宮崎 勝一
滑川町 小川 裕子
嵐山町 小川 裕子
小川町 鈴木 一穂
吉見町 矢野 夫
鳩山町 小川 夫
ときがわ町 東秩父村 栗島 富雄

南部ブロック

鴻巣市 酒巻 喜久子
上尾市 鮫嶋 紀子
戸田市 石井 勝則
和光市 渡井 悦子
桶川市 深谷 三男
北本市 岡野 貞子
川口市 平成29年3月22日
補充選任予定

北部ブロック

行田市 島田 ユミ子
秩父市 宮下 昭
本庄市 茂木 秀夫
横瀬町 黒澤 利夫
皆野町 塩田 壽
長瀨町 落合 正史
小鹿野町 多比良 キヨ子
美里町 森田 實
神川町 木村 葉子
上里町 清水 忠之

〔評議員任期：～H32年5月の定時評議員会終結のときまで〕

民生委員・児童委員委嘱状伝達式 開催

平成28年12月1日、「平成28年度民生委員・児童委員委嘱状伝達式」が
埼玉県県民健康センターにおいて開催されました。

◆委嘱状の伝達

各市町村の民生委員代表者が出席し、上田清司埼玉県知事より、厚生労働大臣委嘱状及び知事委嘱状を受け取りました。



委嘱状の伝達交付

◆主催者挨拶



上田県知事挨拶

上田県知事より「日頃から、地域福祉に関わるさまざまな活動に御支援と御協力をいただいています。ことに、厚くお礼を申し上げます。私は埼玉県民のつながり、絆、

活動能力は高いと思っています。

県では、地域支え合いの仕組みとして、元気な高齢者が少し元気でない高齢者を支える運動を展開しています。包括的に地域を支えています。また、民生委員の方々と一緒に、皆様には、是非ともこれまで培われた様々な経験、人脈、等々を含めまして、より大きな力を発揮していただきますことをお願い申し上げます。」と挨拶がありました。

◆来賓祝辞



来賓代表
宮崎県議会議長より祝辞

来賓には、宮崎栄治郎埼玉県議会議長と吉田昇埼玉県町村会会長及び奥富孝一埼玉県民児協会長が出席され、代表して、宮崎県議会議長より「このたび、向こう3年間、民生委員として御活躍されます皆様方には、地域福祉への深い御理解のもと、このような重責をお引き受けいただき、深く敬意を表します。皆様には、大変なご苦労が、おありかと存じますが、これからも地域福祉の要として、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。県議会といたしましても、

県民の皆様が元気に安心して暮らすことが出来ますよう、福祉の増進に全力を尽くしてまいります。」と祝辞をいただきました。



来賓

宮崎県議会議長 吉田県町村会会長 奥富県民児協会長

一斉改選における県内の状況

- 埼玉県定数(さいたま市除く)
 - ・民生委員 8,830名
 - ・主任児童委員 719名
 - ・合計 9,549名
- 男女別委嘱者数
 - ・民生委員
 - 男性 2,923名
 - 女性 5,511名
 - ・主任児童委員
 - 男性 47名
 - 女性 631名
- 新任・再任委嘱者数
 - ・民生委員
 - 新任 2,765名
 - 再任 5,669名
 - ・主任児童委員
 - 新任 232名
 - 再任 446名

◆代表民生委員・児童委員挨拶

民生委員を代表して、大谷富夫川口市民児協会長より謝辞があり、民生委員として使命の重さを感じるとともに、微力ながらも地域福祉を担う一員として、その責務を果たしていきたいと述べました。



代表者謝辞
川口市民児協 大谷会長

平成28年度 主任児童委員セミナー開催報告

平成28年10月7日(金) 彩の国すこやかプラザ「セミナーホール」において、県内の各市町村民児協主任児童委員代表又は副代表、及び県民児協主任児童委員会委員の68名が参加し、「平成28年度主任児童委員セミナー」が開催されました。

このセミナーは、本会主任児童委員会において企画・運営を行っており、今年度は、「地域住民とともに『わがまち』では」の活動をテーマに掲げ、貧困世帯の子どもたちへの支援活動が一層、推進されることを目的に開催いたしました。



委員長挨拶
県民児協
主任児童委員会
委員長 大場 玲子



主催者挨拶
県民児協
会長 奥富 孝一

講義

「子ども・若者たちの貧困の現状と課題」

《講師》

NPO法人さいたま
ユースサポートネット
代表理事 青砥 恭氏



近年、相次いで起こった少年事件に関わった少年少女たちは、家族にも学校にも守られず、支えられず、地域社会にも安心できる居場所がなく、子どもたちだけの閉鎖されたコミュニティ(暴力を伴う集団)しかありませんでした。そのため、子どもたち自身が選び、安心できる居場所を、社会の中でどのようにつくるかが重要です。

◇なぜ、子どもと若者支援が必要なのか?◇

家庭や学校を安心して暮らせる居場所にできない子どもたちは孤立化し、社会の片隅で生きるしかありません。しかも、労働市場からも排除され雇用へと繋がらない若者には貧困が待っています。つまり、若者の貧困化の最大の要因は「教育と雇用」と言えます。

子どもたちにとって、一日の大半を過ごす生活の場であり、学ぶ場であって、しかも社会性を獲得する学校から排除されたら生きるための知識や知恵を学ぶだけではなく子どもたちのコミュニティに帰属することもできないということになります。

不登校の問題

平成3年からの全国の小学校、中学校の不登校数の推移を見ると、中学校になると不登校数が大きく増加することが注目すべき点です(小学校が約2万人、中学校は約6、10万人)。そして、長期欠席、適応指導教室に通う子どもたちを含めると、約20万人の小中学生が毎年、学校に通っていない状況が見られます。また、生活保護世帯など貧困層

の子どもの不登校は、その他の世帯に比べて、5〜6倍と言われています。

少子化問題は日本の貧困問題でも

2010年は、生産年齢人口3人で高齢者1人を支えています。今のままでは、この高齢化を支える人がいなくなるのです。今のままでは、こういう社会がいずれ到来することは明らかですが、若者たちが社会への信頼を持てなくなる恐れがあります。

30代前半の若者の5割が結婚していません。理由は経済的な問題です。こうした少子化問題にヨーロッパでは、子ども手当や教育費、子どもを産み育てやすい環境を整えるなど解決策に取り組んでいます。日本でも少子化や貧困問題は個別の問題ではなく、社会全体の問題として政策を進める必要があります。

若者の貧困化

子どもの貧困と若年層の非正規雇用増加は大きな相関があります。高校中退、進路未

わがまちの活動紹介スライド

他市における主任児童委員活動を共有することで、今後の児童委員活動が一層活発になることを目的にセミナー受付から開始まで上映。



入間川セタ・青少年非行防止
キャンペーンに参加(狭山市)



H26年 施設研修「調布学園」
(草加市)

決定、早期退職等、学校から仕事へ上手く繋げることができない若者も増えています。そうした若者の雇用をどのようにに確保していくか。また、若者の貧困には奨学金問題も大きく関わっています。国は大学の運営に対して10%の補助金しか出していないため、学生個々の授業料の負担が増えていきます。そのため、奨学金制度を利用し、卒業後に高額な返済することも若者の貧困化に影響しています。

支援をしていくために

「自分は周りのみんなとは違う、同じようには生きられない」と無力感や絶望感を感じている貧困層の子どもたちが少なくありません。しかし、能力が無いのと、努力不足は違います。子どもたち同士が共同し、「自分はこうすればできる」等、仲間と一緒にがんばることができる環境をサポートすることが大切です。

「生きがい」とは、

①自分を価値ある存在と知ること

②他者との交流から仲間同士支えあうこと、人（社会）の役に立つことを知ること

③自分らしくいて良いことを知ること

子どもたちの「生きがい」を育て、家族を支える地域の

ネットワークやそのためのコーディネートが地域には必要です。

実践事例発表

発表1

「地域の子ども食堂 ころあい」どなたでもウェルカム！食を通じて、地域の子どもを地域で育てる」

吉川市民児協
会長 野中 八重氏

子どもに限らず、地域の人誰でも気軽に訪れることができる「地域の子ども食堂」について運営や成果、今後の課題について発表していただきました。



発表2

「父子家庭女兒の支援 — 衣服支援 —」

上尾市民児協連合会
主任児童委員連絡会
代表 大場 玲子氏

ある父子家庭女兒の衣服支

援について、主任児童委員会でやっている子育てサロン時にアナウンスをして衣服を収集した事例とともに、主任児童委員、民生委員の支援活動の現状や今後の課題について発表していただきました。



意見交換

地域の特性や実情に合った〆わがまちならではの活動〆の紹介や活動を進めるにあたってのノウハウや課題等について、会場全体で意見交換を行いました、今後の活動の参考としていただきました。



まとめ

《講師》

NPO法人さいたまユースサポートネット

代表理事 青砥 恭氏

来年度、厚生労働省から学習支援の発展のため「生活力の向上課題」が提案されています。これは、教科指導だけではなく、生活するための知恵や体験を獲得して、子どもたちの総合力を発達させることを目指します。そのため、学習支援だけではなく、料理体験、地元企業での職業体験、ワークショップ、地域活動等、総合的な生活力も増すような体験ができる居場所づくりの取り組みが期待されています。子どもたちの無力感を無くし、効力感を豊かにするには、仲間との交流や成功体験を積み重ねていくことが大切です。そのためにはどのような居場所が必要なのか、また持続的に活動するためにはどうしたらよいのか等、地域の状況に応じて、地域でできることから始めていくことが必要でしょう。子どもたちに寄り添った活動を展開していきましょう。



視察研修「児童養護施設 子供の町」(新座市)



月1回 子育てサロンを開催(幸手市)



子育て談話室「たんぽぽ」を開催(行田市)

全国研修会参加報告

平成28年度

「全国主任児童委員研修会
(東日本)」

【期日】 8月1日～8月2日

【場所】 千葉県千葉市

【本県参加者】 11名

「子どもたちのサインを
見逃さないために」



川島町民児協
主任児童委員
山口 三葉子

平成28年度「全国主任児童委員研修会(東日本)」は、民生委員、主任児童委員等約240名が「東京ベイ幕張ホール」に集い開催されました。

まず始めに、行政説明として、子どもの貧困や虐待防止などの対策や児童福祉法改正に伴い「母子健康包括支援センター」の設置によりきめ細かい支援を行う等の話がありました。

続いて、明治学院大学学長の松原康雄氏の講義を受けました。現在の子どもの取り巻く環境の変化により、社会的関係が希薄になってきている中で、主任児童委員として地域の家庭といかに信頼関係を築き絆をつくっていくか。また、さまざまな問題を抱える家庭と制度や関係機関とつながっていくことが大きな役割の一つであることを再認識しました。

シンポジウムでは、幼保連携型認定こども園の園長、NPO法人せたがや子育てネットの代表、千葉県佐倉市民児協の児童専門部会長である主任児童委員の異なる立場にある三者の方の話聞くことができました。子育て支援からの視点での街づくりや家庭訪問型子育て支援など、地域ネットワークの重要性を含め、さまざまな支援の形態があることを学びました。

2日目は、分散会でした。昭和女子大学、國學院大学講師の高橋久雄氏の講義を受けた後、各地から参加した7

名のグループで、児童虐待防止につながる具体的事業の企画立案、提案書の作成を行いました。外に出てこない親子にどのように対応していくか等、日頃から感じている共通の課題や意見をまとめ、子どもの居場所づくりをメインに皆で考えました。最後に各々のグループ発表をして研修終了となりました。

今回の研修は、主任児童委員の役割を改めて考える貴重な時間となりました。地域に密着している民生委員や関係機関と連携し、情報共有しながらさまざまな問題の早期発見、対応につなげていくために、日頃からの子どもたちにとって身近な「おとな」であり、どんなサインも見逃さない態度を持ちつつ見守り活動をしていきたいと思っています。

本県では、各市町村事務局長より主任児童委員の方に参加希望を募って、本研修に参加していただいております。

平成28年度

「民生委員・児童委員のための
相談技法研修会」

【期日】 8月22日～8月23日

【場所】 東京都江東区

【本県参加者】 3名

「相手の思いを『聴く』ために」



久喜市民児協
会長
長谷川 朱實

平成28年度「民生委員・児童委員のための相談技法研修会」が東京都江東区「TOC有明」にて開催されました。

トリプル台風の影響で悪天候の中、全国から約110名の民生委員が参加し、元梅花女子大学准教授の植田寿之氏による講義研修が行われました。

「相談援助の視点と態度」「相談援助の原点と本質」、共感をし、「感情の反射」をして安心感を与える。人の人生に寄り添う、支え合うということが原点です。

ビデオ学習では、事例に基づきグループ毎に討議を行いました。相談者との第一歩は、きっかけづくりであり、相手の立場に立ち、相手の思いを

受け止めることが大事です。他県委員と地域性の違いを感じつつも、自身の体験談も交えながら、実のある意見交換ができました。

相談技法とは、テクニクではなく、相手を理解しようと思う気持ちによって生かされる方法であり、「話をキク」という場合には「訊く」「聞く」そして「聴く」の3つがあります。「訊く」は質問をしながらきくこと、「聞く」は事実確認などで単にきくこと、最後の「聴く」は話し手の感情(心)にも耳を傾けてきくことです。

状況によって「キク」は使い分けられますし、自分の「キキ方」の癖を知ること大切です。事実確認にやつきになると、相手の気持ち(心)が疎かになりかねません。相手の立場に立つところまで至らないこともあります。「聴いています」と相手に伝えることができれば、安心感や信頼感は深まります。積極的に関わって、それを伝えるのが傾聴のポイントと締めくくられました。

今回の研修会で学んだ知識を、自分だけのものとせず、定例会等の場で伝え、これからの活動に生かしていきたいと思っています。

平成28年度第85回全国民生委員児童委員大会

【期日】10月20日～10月21日

【場所】香川県高松市

【本県参加者】32名

「制度創設100周年を迎えて、今後の民生委員活動を考える」



越谷市民児協
会長
白倉 譽治

香川県高松市において、全国から民生委員約3400名が集う全国民生委員大会に、参加の機会を得ました。

式典の後、特別講義「ありがとう この生命 ありがとう あなたとの出会い」と題した、少林寺拳法グループ総裁の宗 由貴氏の講話を聞くことができました。

創始者である父親のあとを継ぎ、組織を維持発展させた経緯など話されました。自信と勇気と行動力それに慈悲心の輪を広げる人づくりを信念に、拳法は勝つことではなく、広く、多く、今までできなかったことができるように鍛錬をすることで、比較競争は目指さないと話されました。

私たち

に置き換

えれば、

健康の保

持は自己

責任。健

康寿命を

延ばすた

めには、

薬に頼る

のではな

くサロン風な「集いの場」を

設けて、皆で体を動かす健康

体操等を行ったり雑談を交え

ながらコミュニケーションを

図る等、地域に住む高齢者が

健やかに生活が送れる環境を

つくるのが大切だと思います。

2日目は、「民生委員制度

100周年を前に、今、問わ

れているもの」がテーマのシ

ンポジウムに参加しました。

大正6年岡山県での「済世

顧問制度」創設から節目の

100周年を平成29年に迎える

にあたり、今日に至るまで

先人が築き守ってきた民生委

員制度の経緯と変革等広く深

く聞くことができました。

地域におけるニーズが複雑多

様化している現在、守り続け

なければならぬこととして、



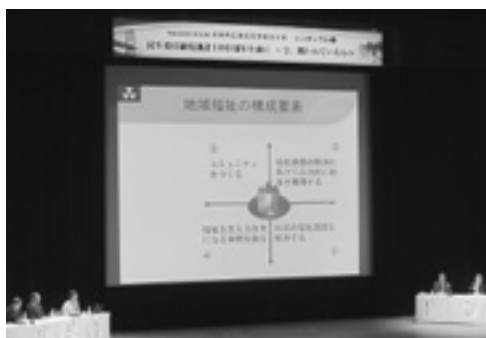
式典の様子

・隣人愛と社会愛の精神をもつて取り組む
・住民と行政をつなぐ役割
・他の機関との連携
があげられます。

民生委員の役割は地域に暮らす人々の生活の安定、この地に住んで良かった、ずっとこの地に住み続けていたいと思える地域づくりに協力しながら活動することだと思えます。

このたびの全国大会参加で得た知識を生かし、

・自身の健康維持に努める
・地域の自治会やその他の団体と連携を密にしてい
・民生委員の応援団をつくる
・地域包括支援センターとのコミュニケーションを深める
これらのことに心掛けて民生委員活動を推進していきたいと思えます。



シンポジウムの様子

平成28年度各種表彰受章者等の紹介(敬称略)

春秋叙勲受章者 (現職)

瑞宝双光章

【民生委員功労】(春)

新座市 須田 邦彦

【更生保護功労】(春)

春日部市 高橋 修子

【厚生労働行政事務功労】(春)

狭山市 菅 一十

【教育功労】(秋)

さいたま市 長澤 勇二

瑞宝単光章

【民生委員功労】(秋)

戸田市 林 源太郎

【統計調査功労】(春)

鴻巣市 菅間 幸子

日高市 早坂 弘美

春秋褒章受章者 (現職)

藍綬褒章

【民生委員功労】

越谷市 鶴内 和子(春)

入間市 中敷領郁代(秋)

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

【警察功労】(秋)

所沢市 菊池 和久

【消防功労】(秋)

久喜市 中山 博

瑞宝単光章

【警察功労】

行田市 高橋 秀明(春)

熊谷市 保泉 滋(秋)

所沢市 春日 良一(秋)

【消防功労】

鴻巣市 川井 友司(秋)

厚生労働大臣表彰

【民生委員功労】

草加市 渡邊 幸司

北本市 吉野 道子

蕨市 小島 淳子

川島町 亀田 緑

新座市 寺輪 玲子

松伏町 今井しげ子

川越市 岡田 育恵

川越市 市川富美子

越谷市 深井 洋子

越谷市 豊田 範光

さいたま市 星野 栄一

さいたま市 根本 淑枝

さいたま市 野口 良輝

【民生委員優良活動団体表彰】
行田市民生委員・児童委員連合会

「子育て支援活動 子育て談話室『たんぽぽ』の運営等／10年以上」

蓮田市

若く、明るく、いきいきと

第4地区民児協いきいきサロンの活動の取り組み

蓮田市第4地区民児協では、事業の一つとして「いきいきサロン」を立ち上げて活発に活動しています。

老後に孤立や閉じこもりをすることなく、いきいきと暮らすには「人と会って会話して、大声で笑う」「定期的に出かけて仲間と楽しい時間を過ごす」ことなどが大切と聞き、この様な場を作ろうと民生委員が中心になりサロンを立ち上げました。

地域に暮らす高齢者が、自分で歩いて行けて、誰でも気軽に参加でき、ふれあい、楽しむ集いの場を4ヶ所に設け、それぞれが毎月2～3回開催して活動しています。身近な場所で開催しているのも、車椅子の方も無理なく参加して頂いています。

活動の内容は、高齢者の健康管理や防犯、消費者問題、オレオレ詐欺や交通安全など、その時々で話題性のある題材を取り上げて、講師を招いての勉強会、グループでの話し合いやお茶会など地域性に合わせてプログラムを作成しています。

健康管理については講話だけでなく、健康体操や吹き矢、輪投げ

や野球盤ゲームなど身体を動かす内容もあり、好評を得ています。

また、地域内および近郊に住んでいる方々による演奏や演舞、会場の設営や遊具の手作り作業などを通しての交流も貴重な成果の一つです。

退任された民生委員の方々もサロンの会員になり、協力して活動を続けて頂いています。

各サロンが発足し約10年を経過して、会

話をし、笑い、そして楽しい時間を過ごすことで気の合う仲間づくりが出来、以前よりわかしくいきいきしている様子が感じられ、関係者一同喜んでいま



椿山いきいきサロン
(平成16年5月発足)



西新宿2丁目、3丁目いきいきサロン
(平成16年9月発足)



西新宿4丁目、5丁目微笑みサロン
(平成17年5月発足)



西城サロンげんき会
(平成23年1月発足)

最近では、サロンの会員から、会員外の高齢者や友人の情報も得られるようになり、設立当初は予想していなかった効果も表れています。

今後の課題は参加者の大半が女性なので、男性の方も「参加したい」と思うような内容を検討していく必要を感じています。

高齢化が進み、孤立・閉じこもりが問題になっている昨今の地域社会においては、高齢者と地域住民、ボランティアが繋がりを持つ場と、顔の見える環境を作るのが重要になり、生活上で起こる様々な問題を解決することに結びつき、サロンの役割はますます重要になると思います。

サロンは民生委員にとって、重要な情報源でもあり、また身近な見守り活動にも繋がるため、15周年を指して一同頑張りたいと思います。

蓮田市民児協	民生委員	主任児童委員
蓮田市第4地区民児協	19名	2名

鶴ヶ島市

地区を越えたつながりを通じて

～専門部会研修会～

鶴ヶ島市の各地区民児協では今年度までの3年間、地区交流を目的として、専門部会を地区ごとではなく各地区からの選出により振り分けて実施してきました。平成28年度は3つの専門部会を設けてそれぞれ9月に実施しました。

開催順にそれぞれ次のようなテーマで研修を行いました。

・障害福祉部会
「障がい児者と家族の支援」話の聞き方・話し方」

・高齢者福祉部会
「認知症高齢者への接し方、その家族への接し方」

・児童・母子福祉部会
「こどもの虐待

といじめについて」民生児童委員の関わり方

」
障害福祉部会の



研修の様子

講師を担当された東洋大学ライフデザイン学部の本名靖教授からは、研修会終了後コメントが寄せられました。その一部をご紹介します。「人は自分が持っている力を十分に発揮するためには『誰かに支えられている。』という安心感が必要です。その支えの部分に民生委員

がなっている、誰もが安心して生活できる地域づくりが必要だと感じて頂けたら幸いです。

民生委員の皆さまの働きがどれだけ凄いことなのか、皆さまの意識が話をきちんと聞く方向に向くようになれば研修をした甲斐があります。皆さまの働きが地域の財産であり、名実ともに地域の相談窓口なのです。これからも地域の支え手としての活動を期待しています。」

また、参加者の熱心な様子にも驚いていらっしやいました。

今年度の専門部会研修に共通していたのは、相手の話を聞いたりする中でどのようなにして相手の様子を感じとっていくのかということでした。地区が違うとなかなか交流する機会の少ない委員の皆さんですが、普段活動している状況を交えながらとても熱心にそして楽しく研修に参加している姿が印象的でした。

来年からは、地区ごとに専門部会の



地域の課題を書き出して対策を考える

テーマを割り振って実施する形となる予定です。この3年間の取り組みの中で生じた交流や共有された情報、次の任期における専門部会研修の土台となり、各地区での研修活動に生かされていくものと考えています。

鶴ヶ島市民児協	民生委員	主任児童委員
第一地区民児協	25名	2名
第二地区民児協	24名	1名
第三地区民児協	21名	2名
第四地区民児協	23名	2名

「元民生委員・児童委員の声」



川口市鳩ヶ谷第1地区
民生委員・児童委員協議会
元民生委員
秋山 知子 氏
(平成28年11月30日退任)

「一斉改選にあたって 12年間(4期)を振り返って」

“光陰矢の如し”12年間の多くの方々との出会いと別れが、今走馬灯のように私の頭の中をぐるぐると回っています。人の世話をする人、される人、子どもたちや高齢者の笑顔に会った時、思わずホッとしました。やさしさの一步は笑顔から、そう思いつつ過ごしてきた12年間。何でも話してもらえよう人になろう、それが何かをしてあげることになるかもしれない。定例会や研修などで立派な発言などできなくても良い、地元の人たちとの信頼関係にすべてがあるんだと信じてきました。

ある日の夕方、体調を悪くした高齢者の方から相談があるので来てくださいと電話があったので、すぐに訪問し相手の立場に自分を置き換えて、一緒に考え話し、そして行政へつないだ、ただそれだけのことでした。

1ヶ月後良くなりましたその方が「ご自分の家のこともあるでしょうに、素早く動いてくれた、それがとても嬉しい」と涙をこぼしながら、ありがとうございましたと何度も言われました。

またある時は、小学校の卒業式の日、近所の卒業生に「中学生になっても勉強にスポーツに頑張ってください」と一筆箋に書いて送りました。たった2、3行の文章を高校受験の時まで机の引き出しの中にしまってあったというガキ大将だった男の子。母親から志望校に受かりました、民生委員さんのお蔭ですと電話をもらった時、民生委員をやっている本当に良かったと涙が出るほど嬉しく思った瞬間でした。

やりたくてもできない多くのことをさせていただいたこと、皆様のご協力のお蔭で無事にここまで過ごすことができたことに、今はただ感謝しております。

最後に、知人の教師が25年前におっしゃった印象に残った言葉を書き留めたいと思います。「取り返しのきくものは世の中に溢れていて、取り返しのきかない人間だけがこの世に一人しかいない、そのかけがえのなさを改めてかみしめよう。たった一つしかない尊い命。」

平成29年 県民児協の予定

1	12日 共生・共助シンポジウム 16日 新任民生委員研修⑤ 18日 男女共同参画推進部会 19日 新任民生委員研修⑥ 20日 第141回評議員会 20日 第140回理事会 20日 正副会長会議 27日 社会福祉関係者新年賀詞交歓会	県民健康センター 秩父市 すこやかプラザ 川越市 すこやかプラザ すこやかプラザ すこやかプラザ さいたま市内
2	3~4日 全国児童委員研究協議会 6日 児童虐待防止セミナー(県こども安全課) 7日 主任児童委員会 10日 単位民児協会長研修 15~16日 全国民生委員指導者研修会 16日 指定民児協活動連絡会 16日 正副会長会議 17日 単位民児協副会長研修 23日 広報委員会 27日 民生委員・保護司連絡会 27日 民生委員・保護司研修会 27~28日 主任児童委員現任研修	千葉県千葉市 市民会館「おおみや」 すこやかプラザ 大宮ソニックシティ 神奈川県葉山町 すこやかプラザ すこやかプラザ 大宮ソニックシティ すこやかプラザ 県民健康センター 県民健康センター 建産連研修センター
3	1日 生活福祉資金制度説明会 6~7日 全民児連 評議員会 7日 第141回理事会 10日 男女共同参画推進セミナー 22日 第142回評議員会	市民会館「おおみや」 東京都港区 すこやかプラザ すこやかプラザ すこやかプラザ

「民生委員・児童委員の声」原稿募集中

— 民生委員が日頃の活動の中で思ったこと、知って欲しいことなどを広く一般県民の方々に知ってもらうためのものです。
— 会員の皆さん奮ってご投稿くださいますようお願いいたします。

※【民生委員・児童委員の声】募集要領

- 1 民生委員・児童委員活動に関することであれば内容は自由です。
- 2 原稿は、800字以内とする。
- 3 応募は1人1任期中1回限りとする。
- 4 掲載は毎月1人とし、投稿者氏名及び市町村名を掲載する。
- 5 発行月の2ヶ月前までにご応募いただいた原稿の中から、広報委員会で選考のうえ掲載する。
なお、加筆・修正等をする場合があるので、住所・電話番号を必ず明記のうえご投稿ください。
- 6 投稿された原稿は返却しません。

提出先

〒330-0075
さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65
彩の国すこやかプラザ
一般財団法人埼玉県
民生委員・児童委員協議会
広報係宛

編集後記

春まだ浅きこの季節、冷たい風の中にも陽の光がぐーんと明るくなり固い土の中から小さな芽を出す植物に生命力を感じ力強く背中を押される思いです。

昨年の一斉改選で新しい体制が決まり出発致しました。また、今号からの新シリーズでは、わがまちならでは地域の状況が掲載され、日頃の皆様方の活動の参考になるかと思えます。

今年は民生委員制度が100周年を迎えることになり、大正6年に始まった制度が今日に至るまで、その永き歴史と重みは一口で語り尽くすことはできないと思いますが、先人たちの志を学び継承しつつ取り組みがなされることと思えます。いつの時代にも課題を抱える人びとに向き合い寄り添う活動を支えるのが民生委員の仕事であることに誇りを持ち、永遠に続けられていく活動をお知らせするのが広報誌の役割です。

6年間委員会に籍を置かせていただき楽しい時間をありがとうございました。

(吉川市 石倉 尚美/平成28年11月30日退任)